

# 小学校歌唱教材の音域と旋律についての考察

山内 隆雄

## An observation on the voice range and melody in the singing materials at elementary schools

Takao Yamauchi

### 1. はじめに

小学校の教室から聞こえてくる歌声は様々である。いわゆる「天使の声」と称される、音程がきれいに揃って透き通った声から、「ただ元気に歌えばいい」的な音程もまばらな声まで、実に多様である。これらは一様に指導者の意識に依るところが大きいと思われるが、小学校高学年に現れる変声期により、歌いにくくなることや、心理的に自分を出すことを控える時期にさしかかることから、歌声が小さくなったり、歌いたがらない男子児童や、弱声で歌ったりする児童が出てくることもある。それらの問題を解決する手立ての一つとして、使用されている音域と跳躍音程の面に焦点を当て、歌いやすさについて考察したい。

### 2. 調査の目的

- (1) 小学校教科書の歌唱教材における音域と学年推移について調査し、傾向を分析する。
- (2) 旋律における跳躍音程について学年推移について調査する。

### 3. 調査の方法

- (1) 熊本県内の小学校で使用されている教育芸術社<sup>1</sup>（以下「教芸」）の「小学生の音楽」と教育出版<sup>2</sup>（以下「教出」）の「音楽のおくりもの」の2社について、楽譜が掲載された歌唱曲を取り上

げ、それぞれの使用音域と旋律の傾向を調査する。その際、楽譜の付いた本編のみとし、教芸「歌いつごう日本の歌」、「みんなで楽しく」教出「おんがくランド」は含めないものとし、1コーラスのみを対象とする。なお、1コーラスに繰り返しのあるものについても含め、2部、3部に分かれた場合、合唱の各パートの音も拾うものとする。

- (2) 「歌いやすさ」について音域、音の跳躍率の面から捉える。

### 4. 研究の仮説

- (1) 順次進行の旋律は歌いやすく、跳躍進行の曲は歌いにくいと感ずるであろう。
- (2) 使用音域の狭い曲は歌いやすく、広い曲は歌いやすいであろう。
- (3) 児童の成長、発達段階に応じて音域や音程を考慮し、段階的に曲の配列をすることで歌唱技能の系統的な指導ができるのではないか。

### 5. 調査の結果

#### (1) 歌唱教材の調と曲数について

共通教材を含めた本編の歌唱教材について、使用される調と曲数を調査した。なお、調については英音名を使用した。（表1）

調については、ハ長調を主としながら、ヘ長調、ト長調が出現する、6年共通教材「われは海の子」

はニ長調であるため、#が2つになっても掲載される。また、「つばさをください」は両社とも変ロ長調で掲載している。この際、移動ド唱法を指導しているのだろうか。筆者が校長として経験した小学校では、移動ド唱法についてはへ長調、ト長調止まりであった。

表 1

教科書	調	1年	2年	3年	4年	5年	6年
教芸	C	10	16	6	8	5	2
	F	7	2	3	4	7	6
	G	1	1	3	2	2	
	B♭						2
	D						2
	Am						1
	目	1	2	1	2	2	1
	曲数計	19	21	13	16	16	14
教出	C	10	10	9	10	3	4
	F	4	6	1	3	2	4
	G	1	2	5		3	
	B♭						1
	D						1
	Am						1
	Dm			1		1	
	Em				1	1	
	E♭					1	
	目	1	1	1	2	4	1
曲数計	16	19	17	16	15	12	

曲数については、両社とも大差ないが、3年生の歌唱教材には差が見られる。これは3年生で導入されるリコーダーの習熟に伴う器楽教材が関係しているものと思われる。教芸は、器楽曲として掲載しているし、教出は歌唱との組合せによっているためである。

(2) 使用音域と出現頻度について (表 2)

使用される音はG (1点ト) を中心として上下に広がる。多くの子どもにとってGの音は最も歌いやすく、声が出やすい音であろうと思われる。また、喚声点付近の声であり、この音から上は頭声発声を指導することにより、澄んだ音色が得られる。

なお、ほとんどの曲は使用音域が1オクターブ内に収まっている。

最も音域の広い曲は、共通教材6年の「我は海の子」でA~D、1オクターブと完全4度。教出の5年「赤とんぼ」がB♭~E♭で1オクターブと完全4度であった。共通教材及び我が国で長い間親しまれている曲は、音域的には広いことは興味深い。(表 3)

表 3

出版社	度	1オクターブ内		1オクターブ以上	
		曲数	割合 (%)	数	割合 (%)
教芸	1年	19	89	2	11
	2年	21	90	2	10
	3年	13	92	1	8
	4年	16	31	11	69
	5年	16	50	8	50
	6年	14	7	13	93
教出	1年	16	94	1	6
	2年	19	68	6	32
	3年	17	76	4	24
	4年	16	44	9	56
	5年	15	47	8	53
	6年	12	17	10	83

表 2

		A	B♭	B	C1	C#	D	D#	E	F	F#	G	G#	A	B♭	B	C2	C#	D	D#	E	F
教芸	1年	0	0	0	54	0	30	0	82	82	2	195	1	120	31	21	35	0	13	0	0	0
	2年	0	0	0	29	0	46	0	124	123	5	241	0	147	4	61	50	0	5	0	1	0
	3年	0	0	0	25	0	54	0	71	72	11	139	0	135	40	64	78	0	21	0	0	0
	4年	2	0	16	54	0	73	0	142	120	25	208	4	191	46	98	122	0	38	0	17	1
	5年	0	7	3	61	1	103	5	116	148	19	198	10	204	54	45	76	0	18	0	0	0
	6年	3	1	4	52	5	79	22	124	195	31	190	8	244	135	48	124	5	60	4	3	0
教出	1年	0	0	0	66	0	77	1	96	76	2	167	11	134	20	41	38	0	5	0	0	0
	2年	0	0	0	46	1	54	1	96	92	4	215	0	179	27	47	75	0	11	0	1	0
	3年	2	0	6	55	0	86	0	113	62	18	173	1	157	13	105	100	0	40	0	2	0
	4年	0	0	14	57	0	70	0	220	125	38	252	0	178	15	83	90	0	35	0	8	1
	5年	0	3	27	76	5	94	14	147	88	65	239	9	156	32	113	113	1	51	2	16	0
	6年	2	1	4	77	1	75	9	143	176	7	240	4	187	68	56	128	4	38	2	19	0

合唱に編曲されたものはオクターブと3度くらいの音域の広がりがある。使用される最低音はA、最高音はFであった。具体的には以下の通りである。

① 低音について

教芸のB♭は5年「Believe」の低音部と「冬げしき」の低音部に出てくる。Aは「われは海の子」に出てくる。

教出のB♭は、やはり「冬げしき」の低音部と「赤とんぼ」の歌い出しである、Aは「われは海の子」である。決して歌えない音ではないが、頭声では到底無理な音であり、柔らかな胸声の響きが求められよう。

② 高音について

2年「春がきた」にはEが出てくる。2年生の実態を考えれば、かなり無理をして声を出すのではなかろうか。その際、指導者が全音下げて伴奏してくれれば歌いやすくなる。

教芸は4年の「茶色のこびん」にEが4回、「オーラ・リー」を歌唱すれば12回、Fが1回出現する。頭声の指導をしていなければ、かなり喉に負担がかかると思われる。従って、これらの曲は、器楽に徹する方が指導効果があると思われる。

男子における変声期の音域を考慮すると、適切に移調するなどの配慮が必要である。

竹内は著書の中で移調、あるいは出すことのできる声域での指導を述べている。<sup>3</sup>

楽譜 1

オ ラ リー オ ラ リー ど こ で す か  
み ず の せ い た ち す が た み せ て

教出はEが4年の「こきょうの春」に6回、5年「ハロー・シャイニング・ブルー」に6回、「君をのせて」に3回、6年「マルセリーノの歌」14回出てくる。前述と同様、頭声の指導が必要である。

楽譜 2

お は よ う マ ル セー リ ノ お め め を さ ま せ *Fine*  
お ひ さ ま の は ら で わ ら っ て み て る *D.C.*

(3) 跳躍音程について

歌唱指導の場合、「コールユーブンゲン」のように2度音程から出発し、次第に3度、4度と広げていくのであるが、小学校児童は声楽の専門家を目指しているわけではないので、そういったメソッド的な歌唱をさせるべきではない。しかし、「かえるの合唱」のような、順次進行の旋律から指導し、音程感をしっかり身に付けた上で、次第に跳躍進行に移行していくのが自然な流れではなかろうか。そこで、歌唱曲の中で、旋律上、最大でどれ位の音の開きが使用されているかについて調査したのが次の表である。(表4)

表4

出版社	度	長	短	長	完	増	減	完	短	長	短	長	完	短	長
		2	3	3	4	4	5	5	6	6	7	7	8	9	9
教芸	1年		2	1	8		2	4		1	1				
	2年	2	1	1	8			5	2	2					
	3年				6	1		4	1				1		
	4年				4			3		1	3		5		
	5年			1	5			3		4	1		2		
	6年				4			3	2	4			1		
教出	1年	1	2	1	5			3	1	1			2		
	2年		2	2	7			1	1	4	1		1		
	3年				7	1		3		4	1		1		
	4年		1		3		1	3		3	1		4		
	5年				3			5		1	2	1	2		1
	6年				3			2	2	3	1		1		

長2度から完全5度までは、割合に取りやすい音程と思われる。増4度は3年の共通教材「うさぎ」に出てくる。

楽譜3

う さ ぎ う さ ぎ な に み て は ね る

児童にとっては、初めて出てくる音程の感覚であろう。したがって、次のように歌ってしまう児童も少なくない。

楽譜4

う さ ぎ う さ ぎ な に み て は ね る

減5度は、教芸1年生、「みんなであそぼう」等に出てくるが、フレーズが切れているので問題はない。

楽譜5

あ そ ぼう あ そ ぼう み ん な で あ そ ぼう

長9度は教出5年の冒頭「レッツ テイク ア チャンス」に登場するが、曲全体に跳躍音程が使用され躍動感のある曲である。テンポも速い中で、きちんと音程を取らせることは努力を要するであろう。

楽譜 6



両出版社の掲載曲全体を通して、無理なく楽しく歌唱活動ができると思われる。跳躍音程については、複数回連続して現れれば歌唱に困難さを感じるが、フレーズの切れ目など休符を挟んでいれば抵抗感が少ない。

## 6. 結論

### (1) 小学校4～6年の歌唱教材における音域の広がり具合、音の使用頻度と歌いやすさとの関係について

音域の幅については、1オクターブ以内に収まる曲が教芸62.6%、教出60%である。音の使用頻度はGの音周辺が最も多い。

音域が広く分散している曲（「我は海の子」、「赤とんぼ」など）は移調して歌うと、高音、低音ともに歌唱に無理が生じやすく、作曲者の意図も酌んで原調で歌うことが望ましい。

また、1オクターブ以内に収まっている曲は、高音や低音が歌いにくければ、長2度や短3度移調して歌わせるほうが歌いやすいと感じる。例えば、早朝で、まだ声が落ち着いていないような場合である。

さらに、小学校5年生くらいから、男子の変声が始まり、歌いにくさを感じる児童が男子児童に多く見られることから、変声の進行具合を見ながら、適切な移調をすることで、歌唱への意欲を失うことなく指導ができると思われる。そのため、指導者の力量として移調弾きはできた方がよい。近年では、キーボードにトランスポート機能の付いたものもあるので、そういった機器を学校現場で導入することは極めて有効である。

### (2) 課題と考えられること

第5学年及び第6学年では、ハ長調に加え、イ短調についても指導することとなっているが、短調の曲は全学年を通じて圧倒的に少ない。その意味では

両社ともに選曲のバランスが取れていないと言える。また、共通教材にも短調の曲は一つも登場しない。

短調の曲は暗いとか寂しいという先入観で、長調の曲が圧倒的多数を占めるのであろうか。しかし、短調の曲に見られる落ち着きとか、心理的な内面が描かれていることを考えれば、高学年にはもう少し配置すべきである。

また、歌唱指導を進めていく上で、音程をしっかりと取るためのシステムがなく、単に曲を消化するに止まっている現状がある。3年生で登場するリコーダーについては、初歩的な技能を習熟させるシステムが導入から考えられているのに、歌唱に関しては皆無である。この点については、さらに研究を重ねていきたい。

## 7. おわりに

本学では小学校教員を目指す学生を多く指導している。音楽の教科指導についても、「音楽」では楽典を中心とした指導、「小学校音楽演習Ⅰ～Ⅴ」では学習指導要領の理解から各領域における実践的な指導を系統的に指導しているが、もともと音楽を得意としていない学生や鍵盤楽器に習熟していない学生も多い。そういった学生に、音楽の美しさ、楽しさ、喜び、味わいといったものを、いかに伝え、教師になった際の指導として意識付けていくかに腐心しているが、まずは指導者自らが興味、関心を持ち、意欲を喚起するような指導を、今後とも心がけていきたい。

注

- 1 小原光一、小学生のおんがく1、教育芸術社、2019、P8～61  
 小原光一、小学生の音楽2、教育芸術社、2019、P5～63  
 小原光一、小学生の音楽3、教育芸術社、2019、P6～50  
 小原光一、小学生の音楽4、教育芸術社、2019、P6～53  
 小原光一、小学生の音楽5、教育芸術社、2019、P6～51  
 小原光一、小学生の音楽6、教育芸術社、2019、P6～47
- 2 新実徳英、おんがくのおくりもの1、教育出版、2019、P6～55

- 新実徳英、音楽のおくりもの2、教育出版、2019、P2～55
- 新実徳英、音楽のおくりもの3、教育出版、2019、P3～53
- 新実徳英、音楽のおくりもの4、教育出版、2019、P5～51
- 新実徳英、音楽のおくりもの5、教育出版、2019、P5～49
- 新実徳英、音楽のおくりもの6、教育出版、2019、P5～44
- 3 竹内秀男「変声期と合唱指導のエッセンス」、教育出版、2014、P29

資料（各楽曲の調査一例）

教出		第1学年																							
番号	掲載ページ	共通教材	曲名	調	音域及び各音の出現頻度																	最大跳躍度数			
					A	B $\flat$	B	C $\flat$	C $\sharp$	D	D $\sharp$	E	F	F $\sharp$	G	G $\sharp$	A	B $\flat$	B	C $\flat$	C $\sharp$		D	D $\sharp$	E
1	8	○	ひらいたひらいた	日						3			13		18		6			1			短3		
2	14	○	かたつむり	C			6	6	10	1	11		1			2							完全4		
3	16		じゃんけんぼん	F			2			7	9		7	9	2		4						完全5		
4	18		みんなであそぼう	F						7	7		6	3	1								減5		
5	20		しろくまのジェンカ	F			8	2	4	16	1	10	1	10	5	2	6		2				長6		
6	22		ぶんぶんぶん	F						2		8		10	8	4							完全4		
7	26	○	うみ	G				3	4			6		5		5			1				完全5		
8	29		たのしくふこう	F					2	4	1	7		4	2								減5		
9	31		どんぐりさんのおうち	C			1	4	12	3		5											短3		
10	34		なかよし	C			3	5	9	7		6		1									完全4		
11	40	○	ひのまる	F						5		5		7			7		4				完全4		
12	43		はるなつあきふゆ	F			1	1		6		8		6	4								完全4		
13	46		きらきらぼし	C			6	6	8	8		10		4									完全5		
14	57		やまびこごっこ	C					6	4		6		4		2							完全4		
15	58		とんくるりんぱんくるりん	C				1	3	3		13		10		6							短7		
16	60		こいぬのマーチ	C			11		12	6		7		2									完全4		
17	70		あいあい	C					4	1		16		8		4	4		1				完全5		
18	71		おちゃらかほい	C						1		26		15		4							長3		
19	71		どれみでのぼろう	C			16	2	4	2		22		2		1							完全4		
					0	0	0	54	0	30	0	82	82	2	195	1	120	31	21	35	0	13	0	0	0

教出		第1学年																							
番号	掲載ページ	共通教材	曲名	調	音域及び各音の出現頻度																	最大跳躍度数			
					A	B $\flat$	B	C $\flat$	C $\sharp$	D	D $\sharp$	E	F	F $\sharp$	G	G $\sharp$	A	B $\flat$	B	C $\flat$	C $\sharp$		D	D $\sharp$	E
1	6		かもつれっしや	F						5		6		8	6	6		1					短3		
2	10	○	ひらいたひらいた	日					3			13		18		6			1				短3		
3	14	○	かたつむり	C			6	6	10	1	11		1			2							完4		
4	16		ぶんぶんぶん	F						2		8		10	8	4							完4		
5	20		しろくまのジェンカ	F			8	2	4	16	1	10	1	10	5	2	6		2				長6		
6	23		わくわくキッチン	C				4	12	12		14		12		5	4						完4		
7	24	○	うみ	G				3	4			6		5		5			1				完5		
8	28		どれみのキャンディー	C			4	5	9	7		8		9		5	3						完8		
9	35		あのね	C			6	8	5														長3		
10	37		どんぐりぐりぐり	C			8	4	6	2		4											長2		
11	38	○	ひのまる	C			5	5	7			7		4									完4		
12	46		すずめがちゅん	C			5	9	3	2		6											完5		
13	48		おもちゃのチャチャチャ	C			14	22	12	12		44	10	42		14	12						完8		
14	50		もりのくまさん	C			4	3	1	7		1	7		5		2	1					完4		
15	52		フルーツケーキ	F					6	9		13		6	1	2							短6		
16	54		きらきらぼし	C			6	6	8	8		10		4									完5		
					0	0	0	66	0	77	1	96	76	2	167	11	134	20	41	38	0	5	0	0	0